

春季 県高校野球

8強決まる

春季東北地区高校野球県大会は第5日の17日、青森市の県営、八戸市長根公園、弘前市はるか夢、六戸メイプルの4球場で3回戦8試合を行い、ベスト8が決まった。青森北は2投手の零封リレーで八戸工を4-0で破った。八戸学院光星は同点で迎えた9回に一挙5得点して弘前東に勝利。八工大二は八戸との同地区対決を9-5で制し、青森山田は東奥義塾を4-2で振り切った。このほか、八工大一、弘前工、弘前学院聖愛、聖ウルスラが勝ち上がった。第6日の18日は、県営と長根公園で準々決勝4試合を行つ。
(本紙取材班)

きょうの試合

(左のチームが一塁側)

◇準々決勝▷県営

弘前工—青森北(10・0)

▷八戸市長根公園

八工大——八学光星 (10·0)

光星 9回勝ち越し

弘東 終盤踏ん張れず



△3回戦(八戸市長機園公園) 安打を許しながらも6-1で逃げ切った。
小学光星 △3回戦(八戸市長機園公園) 突き放した。投手陣は12
弘前東 △3回戦(八戸市長機園公園) 前回までリードしたが、
澤(弘) 成田、戸澤、櫻庭竜 2番手のエース戸澤が2点を奪って逆転した。
戸澤、櫻庭竜(弘) 戸澤(弘) かまつた。
△三塁打 押田小、光田(弘) 7回以降は、一度同点に追いついたが、終盤に再登板した戸澤が2点を奪って逆転した。
米谷(弘) △2塁打 押田心(弘) 評議會が敗戦した。
△暴投 柴田、及川(八) 小林(弘) が勝利した。
【評】小学光星が激戦踏ん張れなかつた。
本が中前へ2点適時打を放ち、勝ち越しに成功。
死球や山上の中前適時打でさうに3点を奪つて
おらず、長根(弘) が前回までリードしたが、前回までリードしたが、
柴田、及川、秋元(弘) が勝利した。
△2回戦(八戸市長機園公園) 小林(弘) が勝利した。
小学光星 △2回戦(八戸市長機園公園) 小林(弘) が勝利した。
弘前東 △2回戦(八戸市長機園公園) 小林(弘) が勝利した。
澤(弘) 成田、戸澤、櫻庭竜(弘) が勝利した。
△3回戦(八戸市長機園公園) 小林(弘) が勝利した。
小学光星 △3回戦(八戸市長機園公園) 小林(弘) が勝利した。
弘前東 △3回戦(八戸市長機園公園) 小林(弘) が勝利した。
澤(弘) 成田、戸澤、櫻庭竜(弘) が勝利した。

松本「狙った」満塁で決勝打

6-6の九回無死満塁の好機。八光学星の仲井監督が代打で送り出したのは、今大会から背番号をつからんと松本だった。「狙っていた」というスタイルを力強く「中前へ」はしき返すと、一舉上で大ききカントンボーズをしてベンチの仲間の歓声に応えた。

この日が公試戦初打席ながら、勝ち越しの2点適時打を放ち、「うれしかった。この一打が自信につながった」と笑顔。仲井監督も「よく打つてくれた」と讃めた。

チームは8強入りを果たしたものの、中盤までは打線のつなぎを欠き、相手を追いかけける展開が続いた。指揮官は「走攻守全てに課題がある」と指摘した上で、「総力戦で戦つことを運営手たちが自覚する意味では、今日の勝ちは大きい。次戦も粘り強く、泥くさに戦つ」と語った。

東奧日報社提供

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです